



なわとびコンテスト



「みんなで跳ぼう！なわとびコンテスト」のエントリーが三十日に締め切られ、三十一日に結果が発表されました。見事三年一組が二百八十四回で県一位に輝きました。昨年度の六年生（現中一）が記録した県二位と県三位を上回る、本校初の快挙でした。これは体育の時間のほか、休み時間や放課後など、毎日のように練習を積み重ねてきた成果だと思えます。

今回同じくエントリーした五年生ですが、あと一歩及ばず、入賞はなりません。しかしながら、五年生も練習では誰にも負けない努力を重ねてきました。

本小の歴史に新たなページを刻んだ子どもたちに心からの称賛と大きな拍手を送りたいと思います。本当におめでとうございます。

文責 本宮小校長 佐久間仁



何よりも嬉しいのは、練習中、タイミングが合わず、ひっかってしまった友達に対して、「ドンマイ」「ガンバ」など、前向きな言葉をかけて励まし合う姿があったことです。そして、これまでの最高記録が出たときは、みんなで手を取り合って喜ぶ姿が見られたことです。この取組を通じて、相手を思いやる優しい気持ち、最後まであきらめない強い心が養われたことが、最も大きな収穫でした。

そんな三・五年生の姿を見て刺激を受けたのか、他の学年の子どもたちも学年・学級の気の合う仲間と長縄をする姿をよく見かけるようになりました。長縄を通じて「優しさ」と「強さ」が受け継がれていくことを期待しています。

や

つてみよう ボランティア



三年生が、総合的な学習の時間に福祉について学んだことを生かして、自分たちができることはなにかを考えました。今回取り組むのは、あいさつ、読み聞かせ、なわとび、折り紙、クイズ、くじ引き、イラスト、工作、水やり、そうじ、草むしりです。みんなの喜ぶ笑顔を見て自分たちも嬉しくなるようなものにしりたいと準備を進めてきました。先週リハーサルをして、今週はいよいよ本番です。三年生の思いやりの心が伝わって、みんなに元気を届けてくれることでしょう。がんばれ、三年生！



読

書ゆうびん



図書委員会が、より多くの人に本の楽しさを知ってほしいという願いを込めて、「読書ゆうびん」を始めました。子どもたちはさっそく自分が読んだ本を他の友達や先生に紹介する手紙を書いて、ポストに入れました。図書委員が手紙を集めて、宛先の人へ届けるしくみです。もらった人は、紹介された本を図書室で探し、借りて読んでいます。自分が読んだ本を、またほかの誰かに紹介して、本トモを増やしていけたらいいですね。ご家庭でもぜひ「週末読書」などを利用して、親子で本に親しむ時間を設けてみてはいかがでしょうか。親子で同じ本を読んで感想を交流するのも素敵ですね。



栄光を讃えて

「税に関する絵はがきコンクール」

【優秀賞】六年 菅野 梓

※梓さんの作品は県に出品されます。